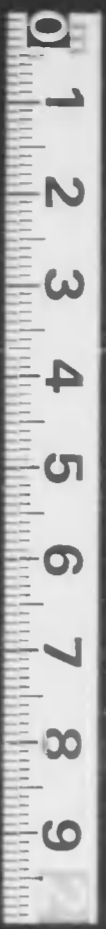


寫眞週報

編輯局報情
二十一月一號一百二十號

新年號



昨年まで元旦は暦の始でしかなかつた
 しかし、今日の元旦は
 亞細亞の黎明を併せ迎へたのだ
 極東
 そんな言葉はもう亞細亞にはない
 植民地
 それは米英と共に亞細亞から消えるのだ
 それにはまづ亞細亞十億の民が
 心の中から
 まっ先に米英的
 考へ方 見方 あり方
 を追拂ふのだ
 除夜の鐘とともに追ひ出した筈だ

比類なき戦果 マレー沖海戦

撮影 海軍省

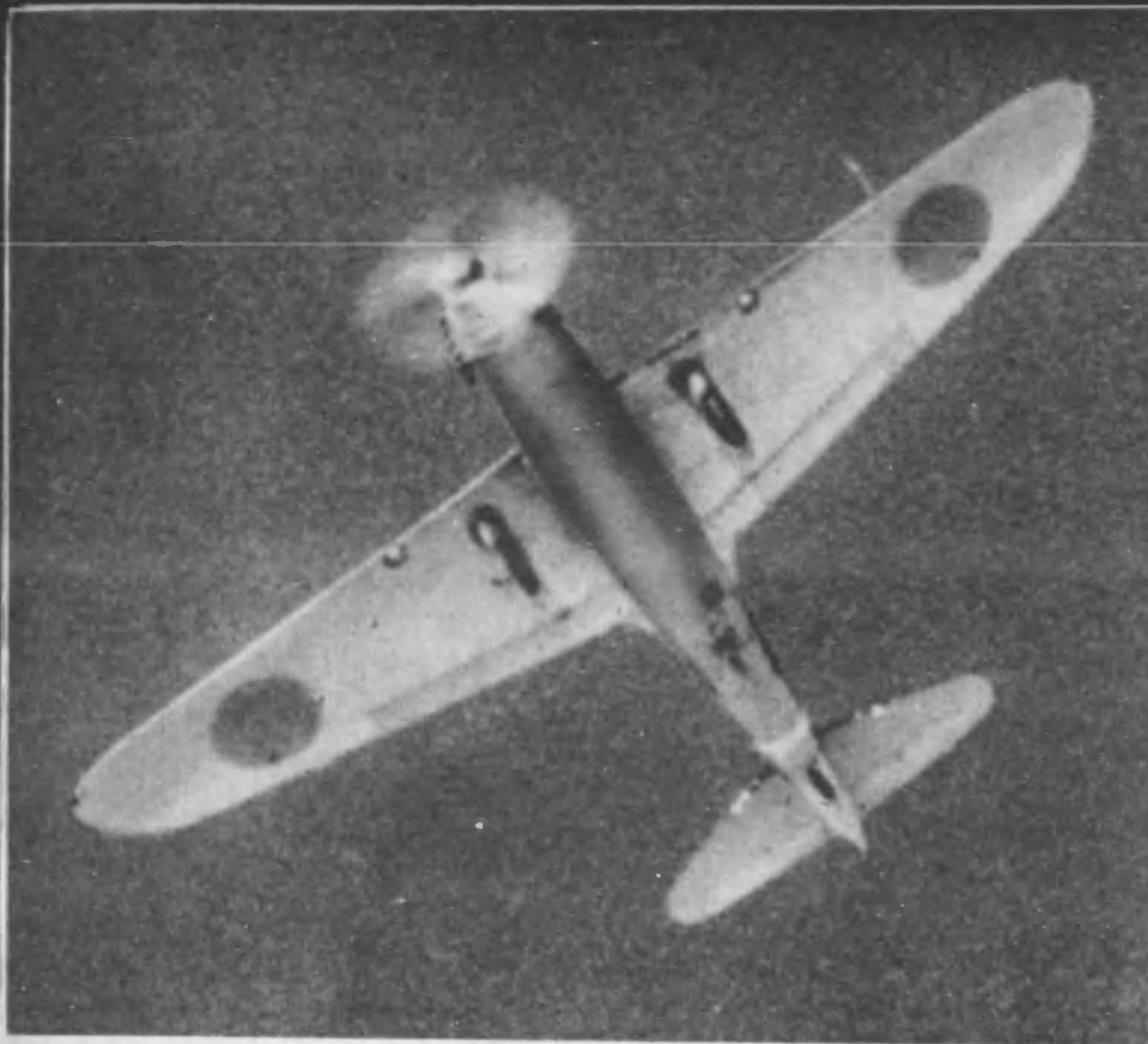
十二月十日、マレー半島東岸クワンタン沖でわが海軍航空隊必殺の猛撃を浴びあへない最後をとげ
 英國東洋艦隊旗艦プリンス・オブ・ウェールズと駆逐艦レバルス艦隊司令部の姿 手前白い水煙に
 まれてゐるのはわが海軍の通称な集中爆撃を浴びてゐるウェールズ艦、遠くは露沈寸前のレバルス





喊聲熱帯の密林をゆるがす マレー戦線

鈴木御水 繪



香港爆撃の陸驚

撮影
日本映畫社



省中... 影撮りよ街市香港 塞要島港香の上炎てけうを撃砲

東亞百年の敵性に遂に鐵槌の下される日は来た。敵が難攻不落を誇つて對日包圍陣の最前線基地と頼んできた香港要塞も今やわが手中に陥ちたのである。わが軍は堅固以來の武士道精神に基き前後二回にわたつてその降伏をすゝめたが、頑迷な敵はこれを拒絶、止むを得ず徹底的打撃を加ふべく意を決したわが軍は十八日夜半敵の頑強な抵抗を排し、猛射を冒して香港要塞の上陸作戦に成功、以來肉弾につく肉弾戦によつて狼狽する敵を追ひつめ追ひつめ、さしもイギリスが巨萬の資材と歳月を投じて構築した香港要塞に、高々と感激の日章旗が飄へつたのである。

必殺の決意を胸に燃やして、右下



新戦場 典辭

香港



九龍より香港を望む。右の所高射砲の砲口、重砲をめぐりておぼろげに、遠くまでイギリスの艦隊——百五十隻までイギリスの艦隊に砲火にさらされた。

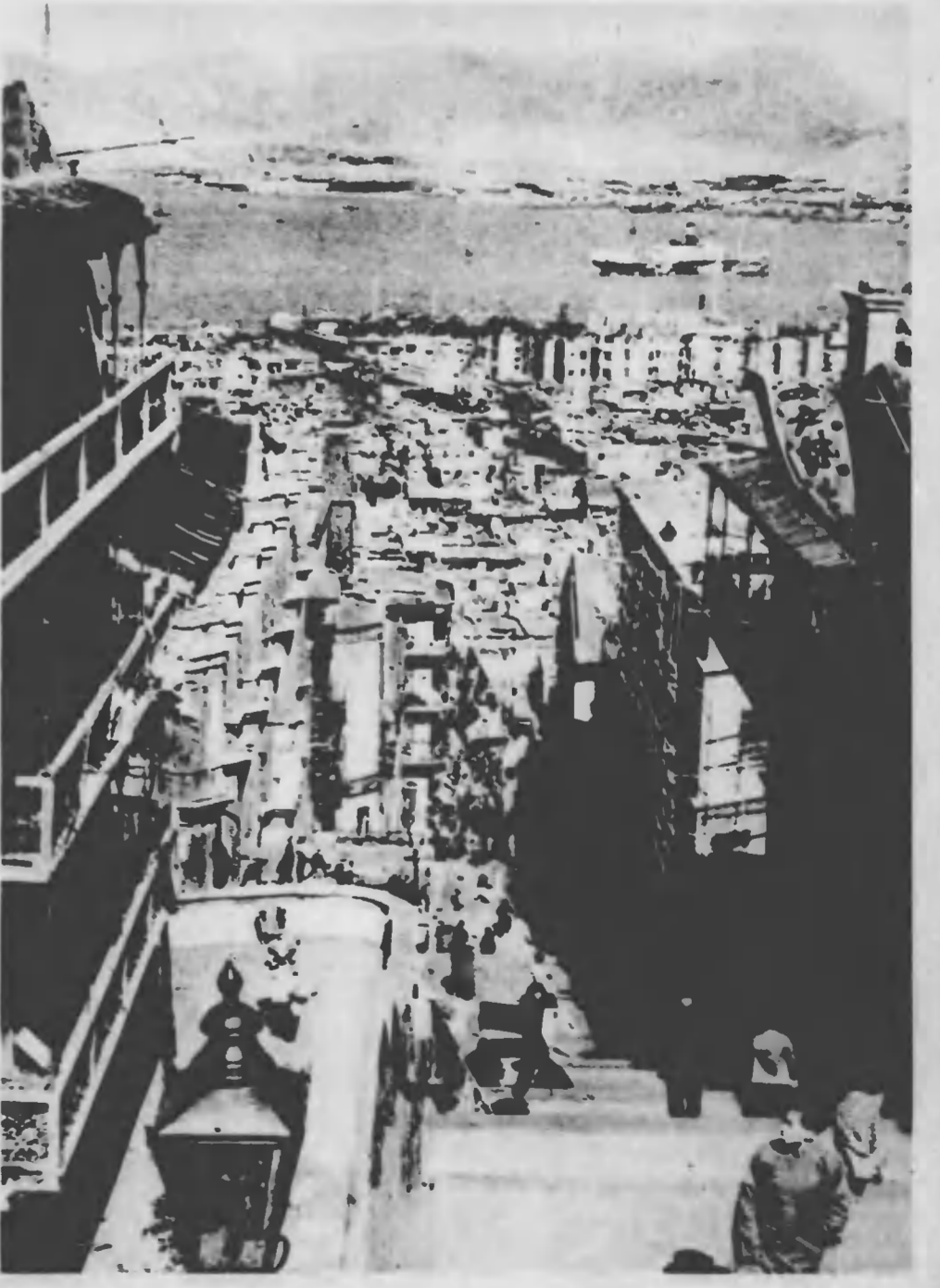


イギリスの百年に亘る支那侵略の歴史は香港割譲、即ち阿片戦争に始まるといつてよい。それ以来、香港を根據地としたイギリスは、飽くなき搾取と苛酷な権柄を支那に加へて、アジア制覇の野望を逞しくしてきた。

この阿片戦争が如何に無法をきかめ、人道に反したものであるかは、當時イギリス国内においてさへ『イギリスの歴史を汚す戦争である』といつて政府の罪惡を責めた政治家があつたのをみれば、十分わかる。阿片戦争こそはアジア民族が永久に忘れることのできな屈辱の歴史の一つである。

現在、聖戦の意義を誹謗し、ロッキン正義と人道を唱へてゐるイギリスが、百年前どんなことをして支那から香港を奪ひ取つたか。香港がイギリス人の手から再びアジアに歸る日を前にして、もう一度回顧してみよう。

その頃イギリスは、支那茶と支那絹の貿易事業によつて莫大な利潤をあげてゐた。ところがこの貿易は完全な片貿易で、支那は何一つ買はうとしない。一方イギリスでは支那茶が既に生活必需品



香港の繁華は阿片に狂ひつた支那民衆の血の上に咲いたものである。享樂と耽溺、それが香港の持つ文化であつた。

品になつてゐるので輸入を抑制する方法がなく、何とかこれを補填しよう、さうして目を付けられたのがインドに産する珍しい阿片であつた。イギリスは支那茶の代りにこの阿片を支那に賣り込まうとしたのである。

阿片の害毒については、誰一人知らぬものはあるまい。民族の血を吸ひ、骨を腐らし、これを戒除に追ひやるものである。當時、支那でも阿片の吸煙は國法を以て禁ぜられてゐた。所がイギリスは、自國の國民にはその吸煙を禁じながら、敢へて、支那四億の民衆にこれを強ひた。支那の開港は、イギリスに強要された阿片貿易に端を發したといつてよい。廣東、香港もこのやうな罪惡の貿易と通商によつて勃興したのである。

支那に駐在してゐた貿易監督官は、表面上は阿片商人を取締る権限を與へられてゐた。彼らは『われわれは阿片の貿易を公許してゐない』と表面上揚言してゐたが、インド兵に護送されたイギリスの阿片貿易船は、白費公然と廣東港に出入してゐた。

當時海關監督であつた林則徐は、イギリスの暴狀をみるに忍び、これを強ひた。支那の開港は、イギリスに強要された阿片貿易に端を發したといつてよい。廣東、香港もこのやうな罪惡の貿易と通商によつて勃興したのである。

支那に駐在してゐた貿易監督官は、表面上は阿片商人を取締る権限を與へられてゐた。彼らは『われわれは阿片の貿易を公許してゐない』と表面上揚言してゐたが、インド兵に護送されたイギリスの阿片貿易船は、白費公然と廣東港に出入してゐた。

當時海關監督であつた林則徐は、イギリスの暴狀をみるに忍び、これを強ひた。支那の開港は、イギリスに強要された阿片貿易に端を發したといつてよい。廣東、香港もこのやうな罪惡の貿易と通商によつて勃興したのである。



たのである。

白國の非を顧みず、イギリス政府は強硬な抗議を發して、阿片貿易の存続を圖らんとした。だが林則徐は頑として節を屈せず、その回答も、彼らイギリス商人の所有する阿片を悉く引渡すこと、その代償として清國政府は旅券を交附して彼らを廣東から退去せしめようといふ嚴重なるものであつた。折衝を重ねた上、イギリスは遂に折れ、沒收された阿片二万数千箱は欽差大臣の命令によつて直ちに焼却されてしまつた。

かくて有史以來の罪惡戦争阿片戦争は勃發した。直接戦争の原因は、廣東でイギリス水夫が支那人を殺した事件であり、欽差大臣の犯人引渡し要求に對してイギリスが拒絶し、その報復として欽差大臣が廣東在住のイギリス商人を全部放逐したことにある。だがその原因は、支那四億の民衆を犠牲にしても、あくまでその利潤を追求しようといふイギリス政府の非人道的な侵略主義にあつたことはいふまでもない。

現在でもなほ支那は阿片の害毒に喘いでゐる。阿片といへば直ぐ支那人が頭に浮ぶほどにまでなつてゐる。だが現在の慘狀は何に原因してゐるであらうか、實に百年前武器に訴へてまで支那民衆に阿片を強ひようとしたイギリスの暴舉である。

阿片戦争は勿論支那の屈辱に終つた。イギリス艦隊及びインドから送られたイギリス陸軍は廣東を陥れ、厦門、定海、鎮海、寧波を攻略し、吳淞より南京までも脅かして、こゝに一八四三年六月二十日六日香港において批准交換の南京條約が成立したのである。この條約によつて支那は千二百萬兩の償金と香港を失ひ、上海以下五港の開港を強要された。更にその追加條約によつてイギリスは支那における租界開設の權利をも確保した。かくてイギリスの支那侵略態勢は完成したのである。

インド人は、イギリスがインドに加へた最大の罪惡は、イギリスがインドに對して正義をなし善政を行つてインド人の幸福をもたらしてゐるといふ外觀を毀つてゐることだといつてゐる。イギリスは、その後支那人の排英觀念を日本に轉嫁し、さらに支那軍閥を生以來は、頑迷な抗日支那人を正義の名によつて、香港、上海租界等に保護し、抗日行爲を以て愛國行爲と欺瞞使職してきた。今日重慶政權をして東西の要衝者に陥れたイギリスの罪惡は、阿片戦争を以て始まるイギリスの支那侵略史中最大のものといへよう。

しかし今や香港の死命を制すると共に、汚辱に充ちたイギリスの支那侵略も遂に幕を閉じた。久しい屈辱を打拂ひ、新しい支那が、新しいアジアが香港の没落と共に変更して誕生したのである。

新編 英領ボルネオ

開戦以来敵軍上陸に次ぐに敵前上陸を以て進出をつづける皇軍果敢の進軍は、英領マレーの奇襲上陸によつて深く英領内に突入し、アメリカの東亞侵略據点フィリピンはルソン島の北部南部上陸によつて同島攻撃態勢を完成するなど、すでに太平洋の戦局は刻々有利に展開されつつあるが、去る十二月十六日未明烈風怒濤を以て敢行された、英領ボルネオの敵前上陸成功は北の香港、東のフィリピン、西の英領マレー、南の英領ボルネオによつて開かれた対米英決戦の主要なる戦場、南支那海制覇のわが有陣に鋭い一石を投ずることになった。



事々と密生したヤシ林、果々と積まれたヤシの葉、これがボルネオの大事な産物の一つだ。

日章旗を翻へしたことは誠に快事といふべきである。さて一口に英領ボルネオと呼ばれてゐるが實際には英領ボルネオとサラワク王国、ブルネイ土侯國の三部に分れ、ひとしく英勢力下にあるのではあるが統治、民情とも多少の違ひがあるのである。面積は約二十一万平方マイルで世界第三の大島英領ボルネオ島の北四分の一（残り四分之三を南領）を占め、人口は約七十八万餘である。氣候は勿論熱帯性であるが酷暑といふ程のことではなく、大抵華氏七十五度から八十五度ぐらゐである。大きにこの三州についてみると、まづ英領ボルネオは英領北ボルネオ会社が統治を委任され、直接ロンドン政府の任命する總督が政治、經濟、軍事一さいの權力を握つてをり、人口は約三十万、大部分はマレー人種の一神づスン族で、華僑はこゝにも多く、六七方と推定され、わが同胞も約二千人近く、タワオ附近を根據地としてゴム、椰子、麻等の栽培や水産業に従事し、南方開拓の先驅となつて活躍をつづけてゐる。主要産業はゴムで大部分は英人により經營されてをり年四百万海峽幣以上の輸出額を示してゐる。大きにサラワク王国はブルクといふイギリス人の王様（ラジャー）によつて統治され、人口は約四十万人、うち華僑約十方をのぞき殆んどジャバ、マレー種に屬する土人で自治能力もあり文化程度も比較的高く、日本に對する態度は積極的で、日本の南方進出を希望する者も多いといはれてゐるから今回のわが進攻には歡喜してゐるであらう。

この重要産物としては石油が最も多く、將來の大東亞建設資源としても注目すべきものがある。現在はアングロ・サクソン石油會社、サラワク油田會社によつて採

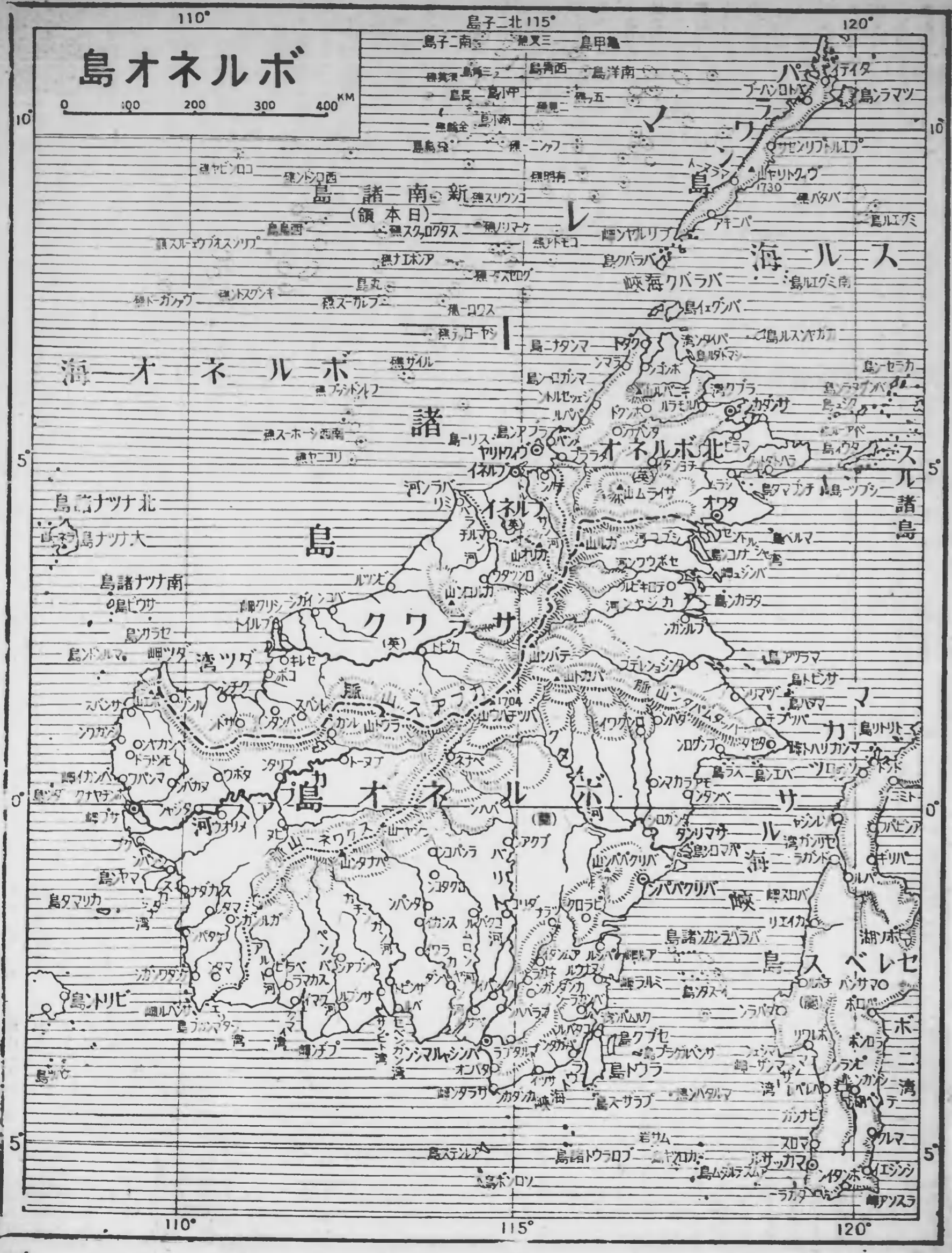


ボルネオ全島住民の大部分を占めるイヤ人も老幼男女が連れ出されるコートのメロニーにうつとりと驚きあつてゐる。

油され、こゝに資本家の獨占下にあるが、彼等はよく交通機關の不便と努力の不足を克服して油田を開発し、その最盛期には年産七十六万トン以上のぼり、輸出額も約六百万海峽幣以上に達し、東亞において蘭領印度に次ぐ大石油資源としてイギリス東洋艦隊の重要な給油地である。その後減産してゐるが、このミリ油田のほかにブルネイ領内のセラア油田、ブルネイ灣口のラブアン島等にも良質の油田があり、その他この地一帯に未開發ながら相當の油量を産出するであらうといはれてゐる。わが優秀な技術をもつてこれらの資源を開發しようとなれば、これもまたわれ等に課された大東亞建設の使命の一つといふべきであらう。

最後にブルネイ土侯國は土人の王様サルタンによつて統治されてゐるが、實質的には政廳内に英人の監視官があり、これが海峽植民地總督の指令に服してをり、これによつて左右されてゐるのであるから事實上マレー聯邦の一州といつて差支へない状態にある。人口は約三万八千人で大部分はマレー人であり他が華僑である。氣候は他の二地方と大差なく、海岸地帯をのぞき山岳地で交通の便が悪く他にくらべて開發が最も遅れてゐるが、住民の反英感情は最も強く、イギリス人の監視官が政廳にゐるうちはイギリス國旗を掲げるが退縮するとすぐに引降してしまふといふやうな氣位をもつてゐるといはれてゐる。

重要産業はゴム、石油であるが、石油はセラア油田を主として年産四十四万トン（一九三五年）をこえ、將來に期待されるところ多大である。以上が英領ボルネオの概観であるが、一八二四年以來一世紀以上にあつた税境ボルネオも、今やわが皇軍の上陸によつて新しい光を浴びたのである。この未開拓の秘庫を開くことにも、われらは大東亞戦争の民族的使命の大きさを見出すにはおぼろげではないか。北ボルネオは十一月から二月までが雨季である。こゝに上陸作戦を敢行した皇軍の勞苦をしのぶとともにあくまでもこの戦ひを戦ひ抜いてゆかう。





日給五十圓の労働者を搾取しながら涼しい場所を占める英領邦首相官邸コートランドの種顔



マレーのバラックをかきあつめる「ロード・マレー」の支那人の一手専賣だ



小金でもつくつて交通調査が政府の小使さんになるのを夢みてゐるインド人苦力たち



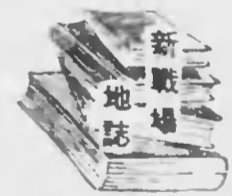
イギリス人経営の小學校で「イギリス人のマレー」をつめこまれてゐるマレー人の子供たち



人力車、無軌道車高級車が走り、マレー人インド人支那人が住き交ふベンガンの日成通り



シンガポールの「シー・ビューホテル」はマレーの支配者英人たちの豪華な邸宅だ



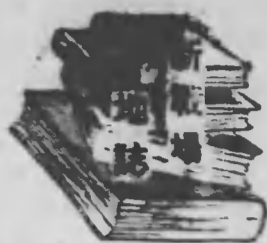
たきてれらげ虐 民住のーレマ

黄金塔の國緬甸と象の國泰との間に、南に向つて約七百キロを細長く垂れ下る半島マレー。この英領マレーはアジア、南洋間の民族移動の十字路に當つてゐるため昔から多くの異民族の集合地帯で人種混血の名さへあるいはゆる複種國です。シンガポールでは日々五十四の異人種が二十七の異國語を話して暮してゐる」といふ有名な挿話は皆さんもご存知でせう。これでは一體どんな異人種があるかといひますと、ごく大雑把に大別してみれば先づマレー人口の大半を占めるマレー人がゐます。大いでも多いのは約四割の支那人で第三は約一割のインド人といふことになりませう。残りはヨーロッパ人あり歐亞混血人あり、マレー原住民の種族ありといつた雑然さですが、この雑多な民族を地帯するマレーはイギリスが一八一九年シンガポールの征服を最後に搖ぎな

分を占め、わけても都會地では絶對多數を擁し、例へばシンガポールには八割近くベナンも約六割は支那人です。獨特の商才といはゆる以族環境の連帯觀念とさらに根強い生活力をもつたこの「壁のやうな種を持つ支那人」こそ従つて量的にも質的にもマレーの主人公であるといへませう。最後にマレーの原住民種族はどうかといひますと、もと／＼このマングローブの繁茂する熱帯の半島は昔はこれら種族の樂園でした。彼等は密林や谷間を跋渉して食料を求め、時には果實を、時には吹矢で鳥獸を狩つて原始生活を営んでゐたのです。他の民族に吸収され逐されて山間地に後退してゐる今日でも約三万の子孫がゐますが、その生活様式や精神内容は殆んど昔とはつておけません。なほこのほかマレーで特に眼につくのは相當多數の歐亞混血人です。彼等の多くは白人の貪慾の犠牲者で、その日常生活は母親から譲り受けた手切金によつて徒食してゐるといふマレーの特殊階級ですが、彼等自身としては自分は白人であるといふ一つの誇りをもつてはゐるものの白人側では全然これを相手にしてくれませんので、結局は彼等の狭い世界に閉ぢ籠りせて派手に着飾つた自分の姿でも寫眞に撮つたりして自らを慰めてゐる彼等の心情はまた憐れといへば憐れではありませんか――

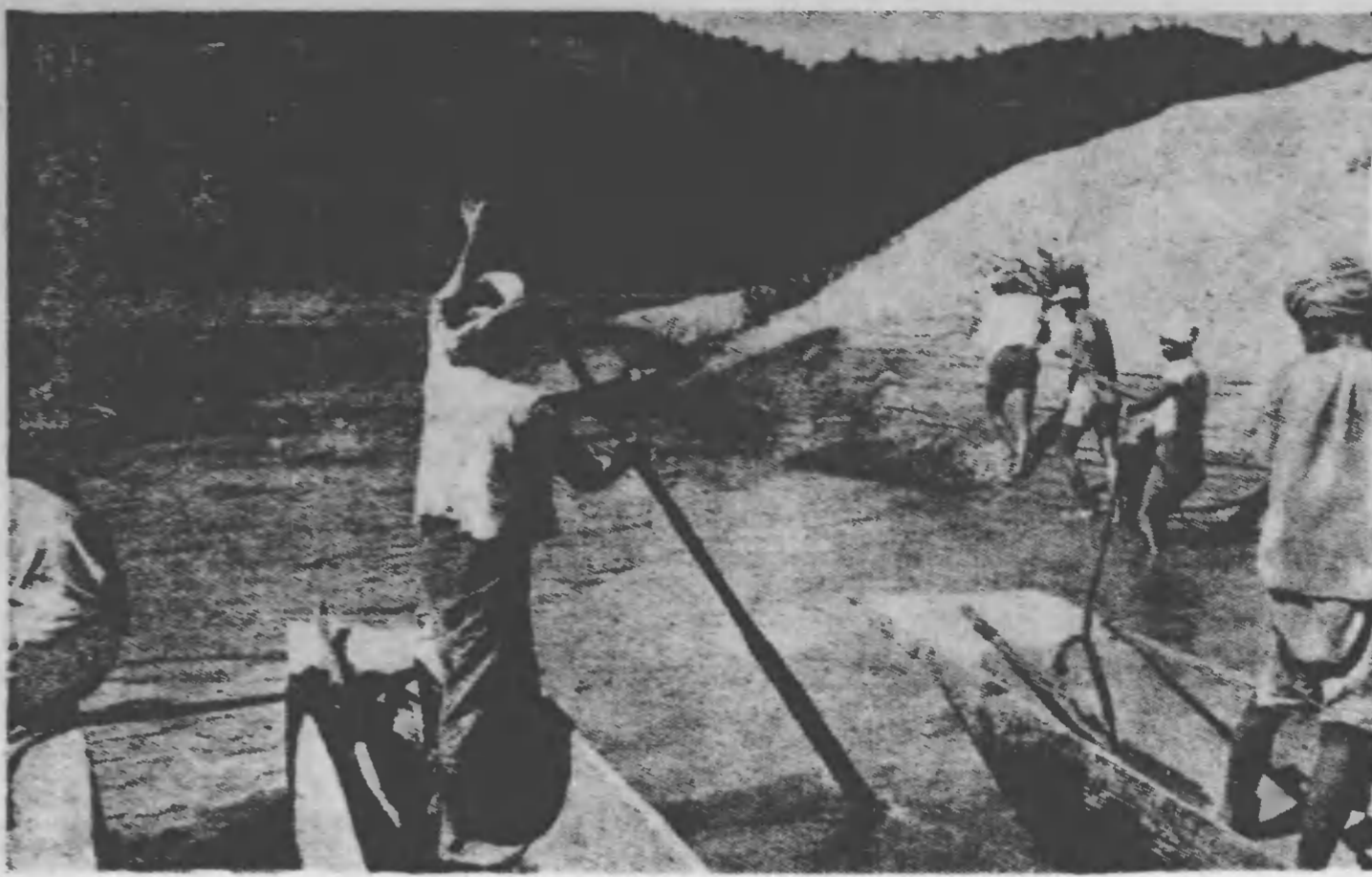
いマレー統治の基礎をうちたて、以來完全にイギリスの支配下に屬し、約三万人の歐洲人即ちイギリス人が現在政治に經濟に絶對的地位を占め、他ははゞイギリスに搾取されるために住んでゐるといつても過言ではありません。以下イギリス植民政策の狡猾な民のなかにあつて喘ぐマレー住民の生活を職業の方面から窺つてみませう。先づマレー人ですが彼等は大部分が百姓で、椰子林や果樹園や水田で農事栽培に従事する者のほかに極めて少數が漁業を行つてゐるといふ程度です。従つて經濟的には頗る無力で、しかも彼等は實情の二字で通つてゐるやうに食つてさへゆければそれでよいといふ太平逸樂の性質はイギリス資本の魔手に踊る一部華僑の乗るところとなり、愚かにも虐げられながら結局は「長いものに捲かれる」主義に墮ちてゐるのです。インド人はその大半がゴムの栽培に従事してゐます。ゴムは年額四十一万トン世界一で、錫、コブラと並んでマレーの三大産物ですが、これもイギリス資本の下に吸収されたインド人マレー人等によつて生産されてゐるのです。なほゴム栽培に従事してゐる者のほかは大方苦力階級でイギリス人の奴隷化してゐるのが現状です。支那人の多くは厨門、廣東、汕頭から渡來した出稼人で問屋、小賣業等の經濟部門と労働者の大部

そこで、原住民種族及び歐亞混血人は別として華僑の中の若干の支那人を除きますとその他の大多數は殆んど農業労働者であり職夫であり苦力であつて階級の上からいへば彼等はいづれも、官吏であり民間にあつては資本家、地主であるイギリス人の支配下にあつてその搾取の對象となつてゐるわけです。物賣い屋、人力車、高級ロールス・ロイス車、ダンスホール、役者のやうなイギリス将校、白人紳士のカンツリ・クラブ、美しい邸宅、頭上をブン／＼飛ぶ飛行機、陰謀、夜會それらのなかに追はれるやうにうちひしがれてゐる。それが總じてマレー住民たちの姿であるといへませう。然しながら今や英領マレー全土を搾取し、領使したユニオンジャック旗を永遠にマレーの土地から追拂ふべき戦いは開始された。すでにマレー北部に奇襲上陸した皇軍は早くも軍部の抵抗を各地に撃ち破り、いま毒蛇猛獸の亂舞する密林を衝き、シンガポールへ怒濤の進軍を叩けてゐます。英國の東亞侵略の最大の基地としてのマレーが東亞共榮國の一翼としてのマレーにかはるとき、その日こそマレーの全住民が十億民衆の解放、東亞共榮の理想實現を望むとするアジアの盟主日本と提携してこの大進軍に向つて立ち上る日ではないでしょうか――



虐げられてきたビルマ人

サウワイン河の急流にカマを漕いで、ビルマ人は男に負けずに立脚



ビルマは最後まで、採得物資の公然たる出荷地として、われにとつては憤激する方なき敵地である。しかしわれはビルマ人を憎む何等の気持もない。否、彼等もまた他の東亞諸民族同様、イギリスの壓制下に多年呻吟する民族であり、われが手を藉して解放してやらねばならぬ憐れな民族である。

ビルマ人は(と言つても、數種の種族から成つてゐるが、稀にみる善良な民族である。その善良ゆゑに、米、木材、石油そのほか驚くべき天然資源の寶庫を國土としながら、これらに自由を享受することができず、政治的にも經濟的にも全く少數英人に生殺與奪の權を握られてゐる現狀である。

ビルマは佛塔と僧院の國といはれる。國中どこへ行つても堂々たる佛塔と僧院の見出されない所はないが、それほどにビルマ人の信仰は厚い。事實、彼等にとつて佛塔の建立ほど尊い奉仕はないので、その建立者は聖者をもつて目され、その死後は必ず極樂に往生できると信ぜられてゐる。それゆゑ、信仰のためには誰しも金銭を惜まない。

佛女信仰に厚い結果は、極端に殺生を忌む氣風がある。自分の體を刺し、作物を荒す害虫(へ殺す)ことを嫌ふ。ビルマ名物といはれる街路樹に巢食ふ無数の鳥や、到る所にうろつき廻つてゐる野犬の類も、彼等が保護こそすれ、決して殺すやうなことはしない。慈悲深い思ひやりのために繁殖したものであるといはれる。

また、かういふ信仰深い民族であるから非常に善良であると共に、物事を達観する性質がある。相手か外人であらうと、嫌な人間であらうと、いつでも誰にでも好意を示す。貧困と苦難にさいなまれても、因果應報の理によつて、何とも致し方のない運命とあきらめてゐる。

なほまた、ビルマ人は有名な女尊の民族である。家庭生活では父は單に名義上の家長であつて實權は母が握つてゐる。そればかりか、ビルマの婦人は土地を所有する權利を持つてゐるし、寡婦は再婚の權利も與へられてゐる。従つて男も女も同等の重要性をもち、自由に、社會的、政治的、經濟的の各方面で男と同等の地位を占めてゐる婦人が多い。

インド、モンゴル族の血を引くビルマ人は武の觀念が強い



ドスン、ドスンと臼に米をついて、明日は美味しい新米をいただく



また食物好きは格別で、朝から晩まで三時間おきくらゐに食べるといふことである。

かういふと、ビルマ人は如何にも暢氣で虐げられた生活に易々(やすやす)として甘んじてゐるやうに聞かえるかも知れない。しかし決してそんなことはない。彼等もまた日本人のやうに尙武の觀念が強く、國民的自尊心を持つてゐる。従つて印度人同様、専横な英人の支配から脱したい氣持は切なるものがある。

特に、一九三七年四月、兩院議會制が布かれ、印度から分離して英國の直轄植民地となつて以來、ますます露骨となつてきた英人の横暴(よこたう)は、ビルマ人の政治的關心を著しく深め、このため前歐洲大戰頃から一部に唱へられてゐた「ドバマ」(ビルマ人のビルマの意)の叫びは、期せずしてビルマ民衆の胸底に燃え騰つた。そしてこれは熱血の青年層によつてビルマ國家主義聯盟の結成となり、「ビルマは我等の國なり」とするいはゆる「主(キタン)運動」となつて展開してゐる。

しかしながら、これに對する英國側の對策は、さすがに吸血國の名にそむかず、完成したものである。こゝにその詳細を述べる。選はないが、一例を挙げるなら、或る内閣が獨立の示威運動をやるすれば、英官憲は直ちに土人警察隊に命じて解散せしめる。警官を統制するのは内務大臣であるが、抗議を申込んで何ら實力がないため取り上げられない。實際、ビルマの首相の地位でも、その實力からみれば、薄給の一人警官にも及ばない状態である。

かくて、ビルマ人は少數の英人のために完全に牛耳られてゐる。いはゞ、ビルマ人は英人の利益のために奉仕する動物(どうぶつ)ぐらゐにしか見做されてゐない。その徹底した人種的差別感(べつべつかん)は、現にウ・ソ首相の如きでさへ、イギリス人クラブに加入することができず、私的に對等に交際し得ない不平等千萬な事實によつてみても、いかに甚だしいものであるかが判らう。

不幸にして、ビルマ人は、支那事變以來東亞の事態を正視し得なかつた。これは全く以上のやうな英人の手枷足枷の中に苦吟せねばならなかつた悲惨な運命のゆゑである。彼等は心にもなく、重慶に親善の特使を送つたり、ビルマ・ルート(輸送)に協力したりした。しかしこれは決して彼等の眞意ではない。彼等の本心は一日も早く東亞の覇主(はくしゅ)日本に離れたい氣持であらう。このことは、今世紀になつてからも彼等自身が一度も反日、抗日演説(えんげつ)を起さなかつた點からみても明白である。

今や遂にビルマ南方にも火は點いた。思はざる皇軍のこの進軍を果してビルマ民衆はどんな氣持で眺めてゐることだらうか



飾りしげな頭の裝飾、首飾り、短いシャツに纏らせるケンタ



ラングーンにあるビルマ第一の佛塔シュウモイゴンパヤ(黄金塔)の全景。塔高三百七十尺餘。約二千年前の建築にかゝる

全滅した太平洋の米英主力艦

艦隊別	所在	型別	撃沈	大破	中破	兵装
アメリカ太平洋艦隊主力艦	ハワイ	メリーランド型				40.6センチ砲 8門 12.7センチ砲 12門 12.7センチ高角砲 8門
		カリフォルニア型				35.6センチ砲 12門 12.7センチ砲 12門 12.7センチ高角砲 8門
	ワシントン	ペンシルヴァニア型				35.6センチ砲 12門 12.7センチ砲 12門 12.7センチ高角砲 8門
		ネバダ型				35.6センチ砲 10門 12.7センチ砲 12門 12.7センチ高角砲 8門
		ユタ型				標的戦艦
洋艦隊主力艦 イギリス東	シンガポール	キングジョージ型				35.6センチ砲 10門 13.2センチ砲 16門
		レナウン型				38.3センチ砲 6門 11.4センチ砲 20門 發射管(8)



大東亞戦争日誌

ハワイ海戦の総合結果発表表。米太平洋艦隊全滅。撃沈艦五隻（カリフォルニア型一隻、メリーランド型一隻、アリゾナ型一隻、ペンシルヴァニア型一隻、ネバダ型一隻）、中破艦一隻（メリーランド型）、大破艦三隻（カリフォルニア型一隻、メリーランド型一隻、ネバダ型一隻）、撃沈艦一隻（ユタ型）、中破艦一隻（ネバダ型）、大破艦一隻（ネバダ型）、撃沈艦一隻（ユタ型）、中破艦一隻（ネバダ型）、大破艦一隻（ネバダ型）。

十六日 ●海軍艦隊は十一日米基地ペーカイ島、十六日ジョンストン島を攻撃、軍事施設の一部を破壊。○方面において作戦中我方艦隊一隻を失ふ。

十七日 ●香港島に陸海空から一斉攻撃。砲艦一隻、魚雷艇六隻を撃沈。砲艦二隻、駆逐艦一隻を大破。陸軍砲隊、軍事施設を破壊。陸軍航空部隊はビナン港を急襲、大型輸送船一隻、小型輸送船数隻を撃沈。現場、港務施設を破壊。我が戦艦三隻はさらにイボ飛行場を襲撃。バフアロ戦闘機六機と空中戦。二機を撃墜。地上攻撃において潜水艦三隻を撃沈。軍艦二隻、駆逐艦三隻を撃沈。○方面において飛行艦各一機を撃沈。

十八日

●フィリピン及びマレー方面における戦果追加発表。●香港島攻撃進行中。●北部ルソン島上陸の部隊は十二日アパリ南方の○○飛行場を攻略。南方に戦果擴大。●南部ルソン島に上陸の部隊は十三日レカスビ、西北方一帯要地を攻略。北進中。●タイ領マレー海岸に上陸進駐の部隊は英軍を撃退。十四日クラ地峡西岸の要衝ビルマ領内ウイクトリア飛行場を攻略。クラ地峡を制圧。シンゴラー、コタバト附近に上陸の部隊は國境陣地を突破。ジャングル地帯を占領。進撃を續行中。

●午後九時五十分陸海協同、香港島要衝の上陸作戦に成功。陸軍マニラ周辺の各飛行場を連襲。大型爆撃機八機を襲上。戦闘機六機を撃墜。クム島占領後、同島内に書カス兵器を多数発見。全部を鹵獲す。

十九日

●海軍航空基地ヒロイロを攻撃。大型飛行機二機を撃墜。格納庫、軍用倉庫、油槽等を爆撃。交上。南支那海において飛行艦一機を撃沈。敵艦一隻を爆撃大破。

●海軍マニラ北方十キロの敵航空基地デルモンテを戦闘機四機をもつて急襲。大型飛行機六機を撃墜。同五機を爆撃。交上。マレー西海岸方面のわが軍は敵軍基地ビナン島を攻略。南方に進軍中。

二十日 ●陸海軍部隊は敵の抵抗を排除し、フィリピン、ミンダナオ島に上陸。戦況有利に進展中。

二十一日 ●陸海軍部隊は緊密な連絡の下に香港島諸要衝、同港の敵艦艇を攻撃。香港島周辺の全海面を制圧中。開戦以来本日まで、敵潜水艦九隻を撃沈。その他撃沈せるヤブや正確ならざるもの多数。

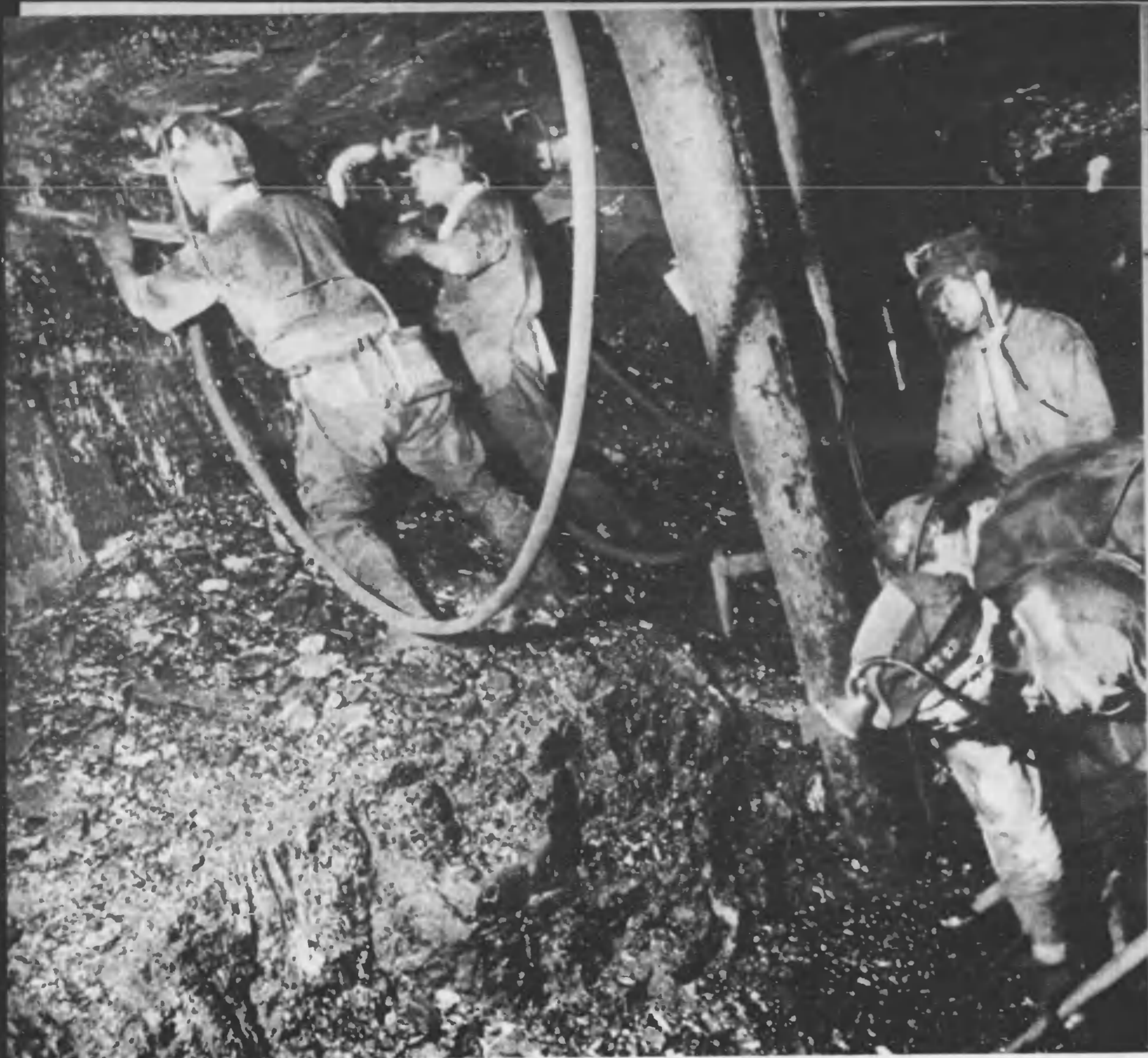
勅題 連峯雲

海軍航空隊 影撮

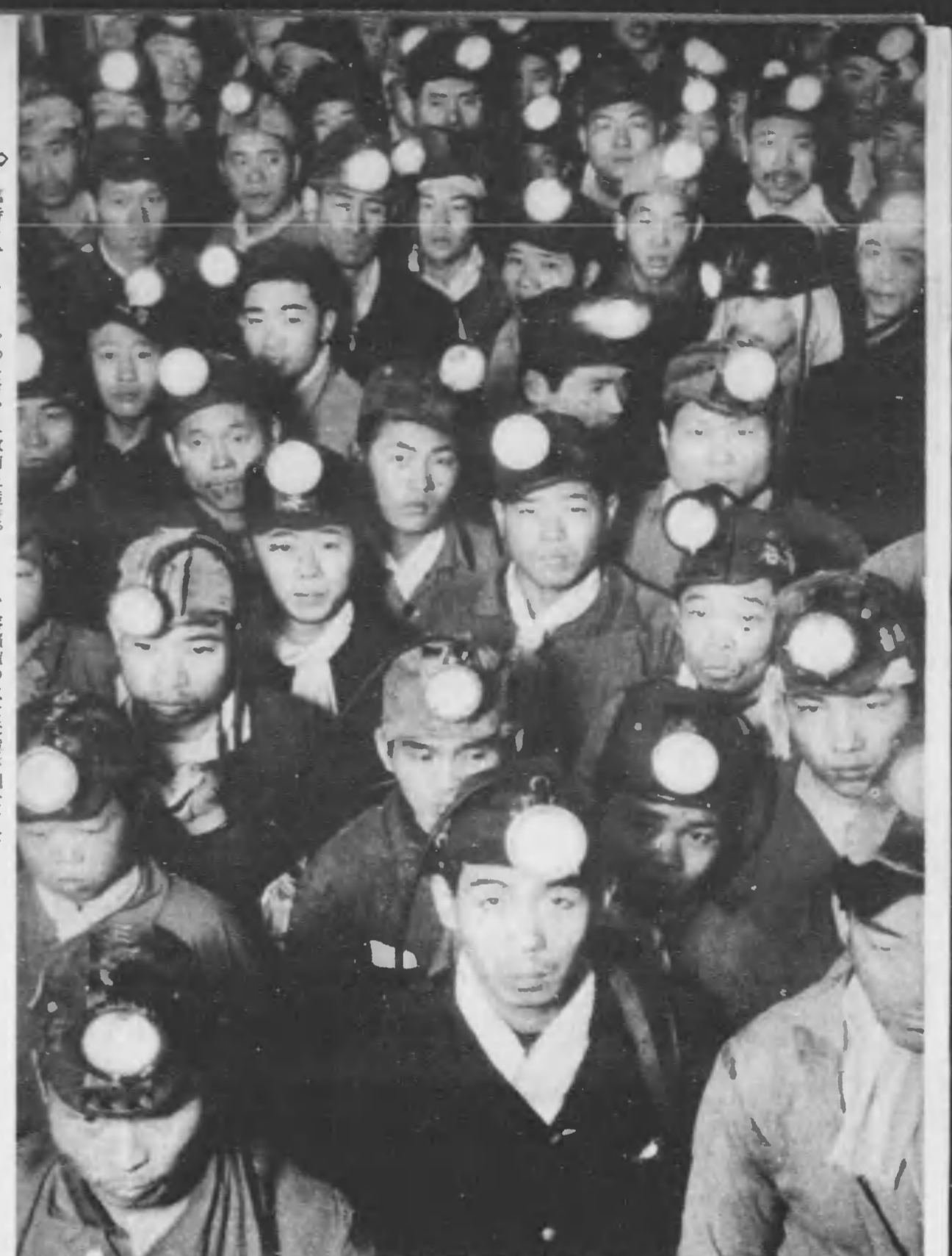
一日 四方昇
●興亞奉公日
「決戦生活奮闘へ」
一億火の玉の連軍
を起しませう。
三日 元始祭
八日 陸軍始 東京代々
木練兵場て觀兵式
舉行の豫定
十五日 海軍始

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

月



臨時ニースーヤつたぞ、又敵前上陸だ。ようし、焙鑛爐の火は俺達が引受けた



この感激を増産へ

北海道夕張炭礦



非常時石炭増産期間
十二月十五日—三月三十一日

日本中の焙鑛爐の火は今、大東亞戦争を勝ち抜くために生産擴充の鐵火となつて猛烈に燃えあがつてゐる。軍艦をつくり、戦車を生み、必殺必中の巨艦をぶつ放す大砲を造る原動力は俺達の掘り出すこの一塊の石炭からなのだ。今や全国炭礦労働者の愛國的熱情は地下數千尺の礦區に滅死報國の強力なスクラムとなつてあらはれ、ドリルの響きは地軸を震駭させて石炭増産はいよゝ急速調だ

こゝ夕張は北海道屈指の優良礦山、北海道炭礦汽船會社所屬の數千人の黒ダイヤ戦士達は一日數千トンの出炭量を誇る記録を突破してさらに増産へと、文字通り、眞黒となつて重機のドリルに、輕機のピツクに男一匹の力と熱をやまにぶちこんでゐる

二十四尺の炭層にぶつかつて先山(推連天)がピツクで掘り崩すと後山(採炭夫)がスコップでベルトコンベアに投げ込む

坑内の所々に資源愛護の立札がある
發破タガネもスパイキもいはゞ兵隊の銃だ剣だ。そのどの一つもみだりに粉失することは許されないわけた

グワツと耳を聳らす轟音、選炭場の女達はコンベアで運ばれる石炭の良否を非常なすばやさで區別してゆく

炭車が送り込まれると貯炭場の石炭は雪崩れをうつて流れ込む。また、く間に何十輛の貨車が一杯になつてドシ／＼工場に運ばれる



大馬の鍛錬は私達が引受けた

秋田縣



兵隊さんは毎日お手納次、張り切つて御奉公せよ、自分の辨當を分與へる心掛が人馬一體のものになる

作戦兵力の増大に伴つて軍馬はますます澤山必要になります。しかもわが國戦時軍馬の大部分は地方馬の中から求めねばなりません。従つて、地方馬の良否は直接軍の戦闘力に影響します。地方馬の鍛錬を目的とした軍用保護馬制度がしかれたわけもここにありませぬ。

普通鍛錬の目的は牡馬では負荷力、靱力(物をひく力)、持久力、集團驅致(馬を集團的に馴れさせること)を完成し、幼駒では體態の發育各個馴致(乗馬、下馬、牽馬等に馴れさせること)を完成し、軍馬として必要な資質を與へるにありますが、鍛へられた人はどこで使つても役に立つと同様に、鍛へられた馬は軍馬としてばかりでなく産業用の馬としても素晴らしい能率をあげます。

従つて、大東亞戦争がはげしく戦はれてゐる今日、地方馬の鍛錬はいよいよ緊要ですが、しかも従來この鍛錬に當つてゐた男子は續々と前線に立つてしまひます。あとに残つた大役は誰か引受けねばなりません。

こゝで立上つたのが鍛錬の娘さん達です。その昔、馬上に打撈つて木曾義仲と馴れつた巴御前も日本の女であればわたし達も日本の女、馬が扱へないわけがない」と、秋田縣雄勝郡山田村の娘さん達もかうした意氣で立上つたのです。そして、男手の不足を補ひながら、馬と娘さんが一つになつて立派な馬をつくるため、素晴らしい成績をあげてゐます。

撮影 川村茂



馬群がうまく出来るやうになつたのも、みんな鍛錬のお蔭だね、農食の話も馬でもち切りである



「けふは鍛錬日だ。さあ、お迎へがきつから一緒に出かけよう、待つ間にも酒を食ませる乙女心に馬も目を細くする」

「けふのこの背に、いつの日か、わがますらが打撈つて、敵前渡河をするともあると思へば……秋田乙女の胸もときめく。ほらほら、」

「きのよの雨で水かさが増してゐるぞ、轉ばぬやうに、さあ、しつかり渡らう——雄物川の渡渉」





勝つために

貯蓄 國民

國民貯蓄獎勵局

生命保險社會協會

内閣印刷局印刷發行

〔別報〕A4 規格定価は33人の定本